

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

山形県立酒田光陵高等学校（山形県）【指定校】

## 【取組内容①】 授業解説動画を活用した個別最適な学びの実践

## ◆ 実践

教師自身が作成した授業解説動画をYouTube上にアップし、学習者が自身の到達度に合わせて授業内および家庭学習にて動画を活用できるようにした。

## ◆ 目的

- 教室内に混在する習熟度の異なる生徒が、自分の到達度に合わせた学習を行うことができる
- 支援が必要な生徒に対して、教員が個別に指導できる環境を構築する
- 基礎的な知識を動画学習で行うことで、授業内での生徒同士や教員とのコミュニケーション時間を増やし、より深い理解をめざす
- 自発的な学習がしやすくなり、学習意欲の向上と自律的な学習姿勢を身につける

## ◆ 学習者の到達段階と動画活用のイメージ

| 学習者の到達段階 |                                         | 授業時の活動                                     |
|----------|-----------------------------------------|--------------------------------------------|
| 到達度①     | 応用問題にも自力で取り組むことができる                     | 解説動画を活用<br>+ 教師の個別サポート                     |
| 到達度②     | 形式を変えた問題は概ね解くことができるが、応用問題は解くことができない     | 解説動画を活用<br>or 到達度①の生徒と協働学習                 |
| 到達度③     | 例題の解法を見て類題を解くことができるが、形式を変えた問題は解くことができない | 解説動画を活用<br>or 到達度②の生徒と協働学習<br>or 教師の個別サポート |
| 到達度④     | 例題の解法を見ても、その類題を解くことができない                | 教師の個別サポート                                  |

教室内に混在する習熟度の異なる4段階の学習者の学びを、  
動画活用により、  
それぞれの習熟度に合わせたサポートを実現

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

山形県立酒田光陵高等学校（山形県）【指定校】

## 【取組内容①】 授業解説動画を活用した個別最適な学びの実践

## ◆ 動画制作における工夫

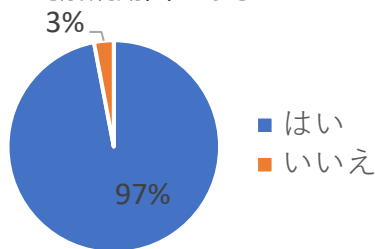
- 動画1本の時間は5分以内
- 黒板を使っての解説動画であり、編集は行わない
- 作成にはタブレット端末のみを使用する

## ◆ 授業における工夫

- 生徒の自主性・意欲を出させるために、演習プリントを「基礎をしっかりと」「平均点以上取る」「満点を目指す」など、自分が目指すべき問題がわかるように配置した
- 自由に移動や会話などができる雰囲気を作り、グループで解法を確認しながら進めることもできるようにした

## ◆ 授業アンケート

授業において解説動画がある方がよい



## 自由記述※抜粋

## ● 「はい」と答えた方

- ・見たいときにいつでも見れるから
- ・進むのが遅いときに便利だから
- ・わからないところがわかるから
- ・途中計算がわかるから
- ・先生が他の人に教えているときも見れる
- ・家に帰ってから解き方を確認できる

## ▲ 「いいえ」と答えた方

- ・端末を開くのに時間がかかる

## ◆ 成果・変容

- 進度の早い生徒は難易度の高い課題に積極的に取り組み、習熟度が低い生徒も授業に向かうようになった。
- 支援が必要な生徒への個別指導に時間を当てることができ、学習活動が活発化している
- 定期テストでは目立った得点の向上が見られず、学習成果の定着が課題である。

